

中学校第2学年

国語

注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 調査問題は、1ページから10ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 解答は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 5 印刷がはつきりしなくて読めない場合は、静かに手をあげてください。ただし、問題の内容に関する質問には答えられません。
- 6 調査時間は45分間です。
- 7 解答用紙には、「組」、「番号」、「氏名」を書く所と「学校名」、「組」、「番号」を書く所があります。まちがいのないよう書いてください。
- 8 解答用紙には、「先生の記入欄」があります。そこには何も記入しないでください。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

現在の日本の社会は、無言化の方向をたどっているのではないだろうか。そして、その主な原因は、社会生活の機械化と都会化にあるのではないだろうか。

昔は人がしていたことを、現在は機械がしていることが多い。駅に行つて電車に乗ろうとする。切符を買うのは自動販売機からである。目的地までの運賃を確かめて、お金を入れボタンを押すと、切符が出てくる。ものを言う必要はない。遊びも機械化してきた。テレビゲームやパソコンでゲームをして遊ぶ。相手が機械だから、ものを言う必要はない。「しまった。」とか「やつたぞ。」と言うことはあつても、ひとりごとにはすぎない。

最近では、機械の無言性を補おうとして、自動販売機やカメラに、コンピュータで合成された音声で、「ありがとうございます。」とか「フィルムが入っていません。」などとかわせるようになった。しかし、人は、これらの声に返事はしない。これらの声を無視することに慣れると、機械だけでなく、人間が言う言葉に対しても答えない態度をもつようになるかもしれない。

また、都会の生活では、買い物をしてスーパーマーケットに行つても、必要な品物を選んでレジスター係に差し出すと、代金を計算してくれる。お金を払って品物を持って外に出る。多くの場合、ひとこともものを言わずに済むしくみになっている。そのうえ、都会では、出会う人のほとんどが見知らぬ人である。だから、他人には無関心になり、ものを言う機会がなくなってしまう。それどころか、都会に住んでいると、他人は自分にとってじゃまな存在になる。ラッシュ時に電車に乗ろうとすると、他人のために自分が乗れなくなる。やつと乗った電車の中では、あつちこつちへと押されてへとへとになる。電車を降りると、大勢の他人は歩くのにじゃまである。こういう中では、見知らぬ他人と親しくものを言うことがなくなっていく。

無言化といつても、もちろん、日本人が、いつも黙っている人間になつてしまうわけではない。事実、電車の中でも、友達と乗っていれば、いろいろと話をする。教室の中では、話はずんで、わいわいがやがやとそうぞうしくなる。昼間会った友達と、夜になってまた長電話することさえあるだろう。

こうした言葉のやりとりには、言葉の送り手と受け手とが互いに相手についてもっている知識や、その場の状況についての判断などが理解を助ける。例えば、出会った友達どうしが、次のような言葉を交わすことがある。

「昨日、どうだった。」

「駄目だった。」

「次の日曜に行くよ。」

「いっしょに行こうか。」

「それはいいな。」

言葉だけでは、なんのことかわからない。魚釣りが好きな二人が出会った。A君は、昨日の日曜日に魚釣りに行った。それを知っているB君がA君に、「昨日、どうだった。」と尋ね、「駄目だった。」という返事を聞いて、次の日曜日は自分が魚釣りに行くことを告げているのである。だが、このような簡単な表現で通じるのは、ごく限られた範囲の人に対してだけである。

わたしたちの社会は、言葉によるコミュニケーションによって支えられている。ここでいうコミュニケーションとは、狭い範囲の限られた人との会話をこえて、もっと広い範囲の人々との気持ちや考えの通じ合いを意味している。この大切な、言葉によるコミュニケーションを成り立たせる条件を考えると、次の三つを挙げることができる。

第一は、人と人との関係を温かい心で保ち、積極的に人に話しかけようとする態度をもつことである。学級会活動や生徒会活動、部活動やクラブ活動などを通して、できるだけ多くの友達や先生と意見を交換し相互理解を図ることもその一つである。また、地域社会での福祉活動に参加することも、その機会を与えてくれる。

第二は、人から話しかけられたら、それを正しく理解し、必要によって、的確に答えるという態度をもつことである。人から話しかけられてもそれを拒否するようでは、コミュニケーションは成り立たない。意見や考えの異なる人の話にも耳を傾ける心が大切である。

第三は、自分の考えが他人にわかってもらえるように表現する能力を身につけることである。広い範囲の人々とコミュニケーションを行うおうとするときは、親しい者どうしのおしゃべりのやり方では通用しない。自分の表現能力が十分でなく、またそのことに気づかないでいると、他人は自分を理解してくれないと誤解したり、世間は冷たいと思いきんたりすることにもなる。言葉を適切に選び、筋道の通った話を組み立てることによって、考えや気持ちを伝えるようにする努力が必要になる。

現在の日本の社会に見られる、機械化と都会化による無言化の方向は、わたしたちからコミュニケーションの機会と経験をうばおうとしている。その認識のうえに立って、ここに挙げた三つの条件を身につけるように積極的に取り組んでいくことが、この無言化社会の中で、心と心の通い合う豊かなコミュニケーションを回復させる道ではなからうか。

(樺島(かばしま) 忠夫「無言化社会の中で」による)

一 ―線部「無言化」とありますが、筆者が原因として挙げているものは何ですか。本文中から探し、**十五字以内で抜き出し**なさい。

二 ―線部「もの」とありますが、どのような意味で用いられていますか。同じ意味で用いられているものとして最も適切なものを次の**1**から**4**までの中から**一つ**選びなさい。

- 1 目にも**見**せる。
- 2 金にも**を**言わせる。
- 3 **もの**の見事に成功する。
- 4 あきれて**もの**が言えない。

三 ―線部「言葉によるコミュニケーションを成り立たせる条件」とありますが、第二の条件として筆者はどのようなことを挙げていますか。解答欄(らん)に合うように**三十字以内**で書きなさい。

四 ―線部「親しい者どうしのおしゃべりのやり方」とありますが、これはどのような話し方ですか。最も適切なものを次の**1**から**4**までの中から**一つ**選びなさい。

- 1 単語や短い言葉などの簡単な表現による話し方。
- 2 身振り、手振りを用いて、表情豊かに話す話し方。
- 3 思っていることを包み隠さずに本音でぶつけ合う話し方。
- 4 互いが持っている異なる知識が話の理解を助ける話し方。

五 筆者はなぜ、日本の社会が「無言化」へ向けて進むことを心配しているのですか。その理由を「**から**。」に続くように、**四十字以内**で書きなさい。

六 あなたの身近な地域社会のコミュニケーションが現在よりも豊かになるためには、筆者が挙げた第一から第三の条件のうち、どれが最も必要だと考えますか。次の条件**1**から条件**3**にしたがって書きなさい。

条件1 全体を二段落構成とし、第一段落には、筆者が挙げる第一から第三の条件のうちいずれか**一つ**を用いて、自分の立場を明らかにすること。

条件2 第二段落には、あなたがそう考える理由を書くこと。

条件3 八十字以上、百字以内で書くこと。

2 黒田さんたちは、国語科の授業で日本語をテーマに話し合っています。話し合いの様子を読んで、あとの問いに答えなさい。



司会

今回の話し合いのテーマは「日本語」です。
発表者は、自分の考えを述べてください。

私は、最近の日本語は、言葉本来の役割を果たしていないように感じます。流行語大賞に選ばれた言葉や友人との間でよく使われている言葉は便利で使いやすく、リズム感がよいものが多いからです。



植木さん

私は、日本語はすばらしいと思います。それは、命のはかなさや季節の美しさを日本語独特の言葉で描いた文学作品が多く存在します。作品を読む度に新たな感動と出会えるから、日本語には人の心を動かす、不思議な力があると思います。



塚原さん

私は、日本語は進化していると思います。毎年流行語がつくり出されるし、関西で暮らしたことがない人でも、関西弁を使うことだってあります。使わなくなる言葉は自然と消滅していき、人々が便利だと感じる言葉が残ったり、生まれたりするのだと思います。



横山さん



内藤さん

主張内容と根拠との関係がよく分からないな。よし、質問してみよう。

今の塚原さんの発表、何かおかしくないかしら。



安田さん

一 内藤さんは、発表の中に、主張内容と根拠の関係がよく分からないものがあるのに気づき、発表者に質問することにしました。内藤さんがしようとしている質問として最も適切なものを次の**1**から**4**までの中から**一つ**選びなさい。

- 1** 植木さんに、植木さん自身が考えている言葉本来の役割について質問する。
- 2** 植木さんに、年の差に関係なく意味が通じにくい流行語について質問する。
- 3** 横山さんに、人々が便利だと感じる言葉にどんなものがあるか、質問する。
- 4** 塚原さんに、これまでの読書経験と今でも心に残る作品について質問する。

二 各発表者の話を聞いていた安田さんは、「議論を活性化させるために論点を絞ってはいかがでしょうか。」という意見を言おうと考えました。この場合、あなたならどのような論点を提示しますか（どの論点を選んでも構いません）。次の**1**から**4**までの中から**一つ**選び、その論点に対するあなたの考えを**八十文字以上、百字以内**で書きなさい。

- 1** 日本語の未来について。
- 2** 日本語のよさについて。
- 3** 大切にしたい言葉について。
- 4** 日本語の役割について。

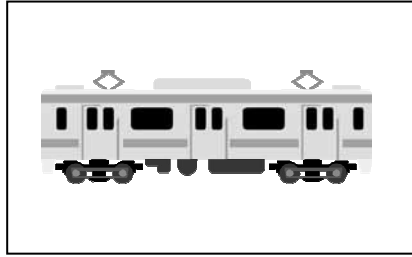
三 各発表者の話を聞いていた安田さんは、塚原さんの主張について言葉の関係が不適切なことに気付きました。塚原さんの主張の不適切な部分を一文で探し、その一文を適切に書き直しなさい。

3

江藤さんたちは、国語科の授業の中で**効果的な話し方を学習するために**、四コマ漫画まんを用いてことわざをテーマとした発表をします。次は、ことわざを紹介するために書いた江藤さんの**原稿**です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

(原稿)

今から、私が調べたことについて発表を始めます。みなさんは、「情けは人のためならず」ということわざを知っていますか。有名なことわざなので、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。それでは四コマ漫画でことわざの内容を説明します。



(一コマ目)

電車に乗っていると、一人のおじいさんが乗ってきました。



(二コマ目)

車内は混んでいたなので、おじいさんに席を譲りました。



(三コマ目)

ある日のことです。僕が道に迷って困っていると、親切なおばさんが駅までの道を教えてくれました。



(四コマ目)

「情けは人のためならず」というけど、このことわざの通り、人に親切にするといつかは自分に返ってくるんだね。

このことわざは、よく「人に情けをかけるのはよくない」と誤解されますが、正しくは、「他人に情けをかけると、それが巡り巡っていつかは自分のためになる」という意味で、積極的に「情け」、つまり、人に親切にすることを勧めたことわざなのです。これからの生活の中で、自ら進んで情けをかけることができる人が増え、笑顔の絶えない社会になればいいと思います。これで、私の発表を終わります。

一 江藤さんの発表の特徴を説明したものととして、最も適切なものを次の1から4の中から一つ選びなさい。

- 1 聞き手を引きつけるために、唐突に話し始めたり、語りかける表現を多用したりしている。
- 2 話の説得力をもたせるために、日常生活の場面を具体例として用いながら説明している。
- 3 聞き手に分かりやすく説明するために、友人と自分の考えを比べながら説明している。
- 4 主張内容を効果的に伝えるために、聞き手の反応を予想した問いと答えで構成されている。

二 江藤さんの**原稿**は、聞き手に対してどのようなことを意図して作られていますか。最も適切なものを次の1から4の中から一つ選びなさい。

- 1 ことわざの意味を正しく理解した上で、ことわざを日頃の生活に役立ててもらおうこと。
- 2 ことわざに対する興味をもってもらおうとともに、新しいことわざを作ってもらおうこと。
- 3 自分の利益の獲得のため、困っている人に対し進んで親切な行動を取ってもらおうこと。
- 4 心温まる話題やユーモアあふれる楽しい発表をすることで、聞き手を笑顔にすること。

三 江藤さんの発表を聞く際、聞き手はどのようなことを心がけるとよいでしょうか。最も適切なものを次の1から4の中から一つ選びなさい。

- 1 必要に応じて反応するとともに、発表の途中でも質問できるように常に準備しながら聞く。
- 2 四コマ漫画の用い方に注目するとともに、発表内容を理解するため否定的な立場で聞く。
- 3 発表の中心点やキーワードを聞き分けるとともに、メモを取ることに集中しながら聞く。
- 4 話し手の意図をとらえるとともに、具体例が適切か判断したり改善点を考えたりしながら聞く。

4 次は、『宇治拾遺物語』の「雀の報恩の事」の【冒頭の部分】とその【現代語訳】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【冒頭の部分】

今は昔、春つかた、日つらかなりけるに、六十ばかりの女のありけるが、虫打ち取りてみたりけるに、庭に雀のしあきけるを、童部石を取りて打ちたれば、あたりて腰をうち折られにけり。羽をひためかして感ふほどに、鳥のかけりありきければ、「あな心憂。鳥取りて」とて、この女急ぎ取りて、息かけなどして物食はず。

【現代語訳】

今となつては昔のことだが、春のうららかなときに、六十歳ぐらいの女が、しらみなどを取っていた時に、庭に雀が歩いてたのを、子どもが石を拾って（雀に）ぶつけたら、（石が）当たって腰を折られてしまった。（雀が）羽をばたばたさせてもだえていると、カラスが飛び回っているのを、「あらかわいそうっ」。カラスが食べてしまったら、「と」と言って、「この女は急いで（雀を）取って、息をかけてやるなどして食べ物を食べさせた。

- 一 ―線部「取りてみたり」を現代仮名づかに直し、すべてひらがなで書きなさい。
- 二 ―線部「感ふほどに」の意味を【現代語訳】の中から抜き出しなさい。

五 次は新聞委員の北川さんが「一年生をむかえる会」の様子を伝えた、学校新聞の記事の下書きの一部です。――線部を「一年生が」を主語にして書きかえます。あとの□の中に入るふさわしい内容を、意味を変えないようにして書きなさい。

【北川さんの下書きの一部】

元気いっぱい的一年生 みんなの仲間入り！

四月十二日、きれいにかざった体育館で「一年生をむかえる会」がありました。進行係の合図のあと、六年生が、一年生の手を引いて、体育館に入場してきました。体育館いっばいにひびきわたるたくさんのはく手。九十二人の一年生は、みんなにこにこ顔。

く (下書きが続く) く

一年生が、

、体育館に入場してきました。

